

根本的な対策を

水俣病 中村市長ら陳情

県は今年中にも水俣病の原因究明に結論を出したい方針だが、中村水俣市長、湘上同漁協長らは八日県庁で水上副知事と会い根本的な水俣病対策をたてて中央交渉を強く行なうてほしいと要望した。

現在袋湾の魚を獲ることは申し合わせて禁止されているが、やはり漁民のなかで生活に困って獲る

者が絶えないといわれ、昨年は四人、今年は一入の新患者が発生している。県では病原究明を第一にし、あわせて患者の治療や更生対策をすすめる方針だが、すでに熊大を中心とした病原究明費百万円（国庫）が決まっており、水上副知事は陳情に対して「こんごは中央交渉を活発にして一日も早く病困をつきとめ、漁民の漁法転換などに努力したい」と語った。